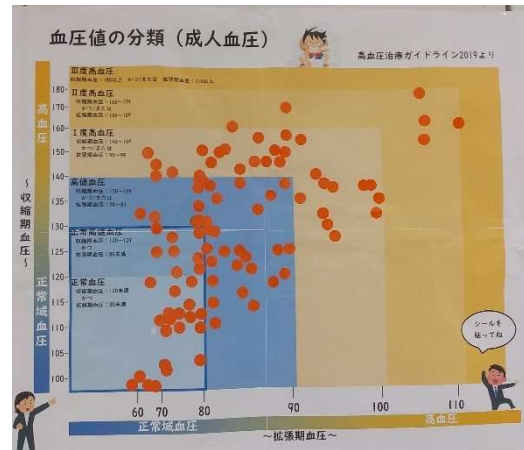


5月17日は世界高血圧デー。当院では、2024年5月15日に

『世界高血圧デー』 啓発イベント
＜＜おいしく、楽しみながら、健康になろう！＞＞

を開催致しました。

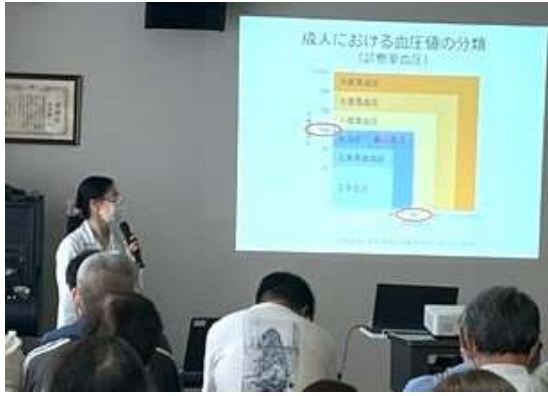


講演会には50名、イベント全体では100名を超える方々にご来場いただきました。五感を使って体験し、楽しみながら自分の健康について考える、良いきっかけになったのではないのでしょうか。ご来場者の皆様が笑顔で会場を後にされたことが一番印象的でした。



ご来場いただきました皆様、そしてご協力頂きました協賛企業様（株式会社 CureApp、オムロンヘルスケア株行会社、サントリー食品インターナショナル株式会社、かるしお®認定企業(株式会社通宝、ヒガシマル醤油株式会社)）、および後援頂きました日本循環器協会様、中日新聞社様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

私たちは、地域の皆様の健康を保ち、誠実で親切な、良質で安全な医療・健診を提供することを通じて、皆様の幸福に貢献します。



病気リスクや減塩 50人学ぶ

中日病院 「世界高血圧デー」前に啓発

世界高血圧デー(17日)に合わせて啓発イベントが15日、名古屋市中区の中日病院であり、患者や地域の高齢者ら50人が高血圧のリスクや減塩食について学んだ。

来場者は血圧測定後、手のひらをセンサーに当てて野菜の推定摂取量を測定する機器「ベジチェック」を体験。高さ40センチの台に座り、片足で立ち上がったって運動機能を確認するテストに

も取り組んだ。減塩みそ汁の試飲もあった。

同病院循環器内科の田口宜子医師が高血圧予防について講演し、「高血圧は心筋梗塞や脳卒中のリスクが高まる」と呼びかけた。

国立循環器病研究センター(大阪府吹田市)の上級研究員で管理栄養士の竹本小百合さんが減塩レシピを紹介。「調味料は初めからかけず、味を確認してから」「麺類の汁は残す」な

啓発イベントで、血圧を測って表に印を付ける参加者ら
―名古屋市中区の中日病院で



ど手軽にできる減塩法をア
ドバイスした。

(山野舞子)